

参考資料19
分類名〔経営〕

6次産業化に取り組む県内事業者の課題及び成功要因

宮城県農業・園芸総合研究所

1 取り上げた理由

6次産業化は全国的にも積極的な推進がなされており、本県でも様々な支援を実施し、優良事例が増えているものの、総合化事業計画認定事業者数の伸びは鈍化しており、「六次産業化・地産地消法」に基づく総合化事業計画認定事業者の実態については不明な点が多い。そこで、6次産業化に取り組む県内事業者に対するアンケート調査で、6次産業化の課題、成功要因、ポイント等について明らかにしたので、参考資料とする。

2 参考資料

- 1) 6次産業化の課題については、「販売」、「商品」、「確保」、「販路」、「資金」、「技術」、「開発」の出現回数が多く、特に売上1億円未満の事業者で出現数が多い（図1）。
- 2) 6次産業化の成功要因については、特に「生産」が多く、続いて「安定」、「加工」、「販売」、「企画」、「品質」、「販路」、「商品」の出現回数が多い（図1）。
- 3) 6次産業化における重要なことについては、「販路」、「商品」、「確保」、「販売」、「地域」、「コンセプト」、「貢献」、「ブランディング」、「加工」、「こだわり」、「確立」の出現回数が多い（図1）。
- 4) 商品開発、商品ブランド及び販売促進については、「消費者ニーズ」を把握し、「味」が良く、「安全」であることはもちろんのこと、売上1億円以上を目指す際には、「シーズ活用」、「付加価値」、「差別化」、「斬新さ」、「デザイン性」、「形状」、「販売促進」、「イベント参加」、「出張販売」が重要である（表1）。
- 5) 商品コンセプト（売上1位商品）は、売上1億円以上の事業者では「しっかり作成していた」が80%、「簡単なコンセプトはあった」が20%であり、全ての事業者で商品コンセプトを持っていることから、売上1億円以上を目指す際には、しっかりした商品コンセプトの作成が重要である（図2）。

表1 商品開発、商品ブランド、販売促進に係る各項目の重要度
（5段階評価：5とても重要、4まあまあ重要、3普通、2あまり重要ではない、1重要ではない）

	商品開発							商品ブランド							販売促進									
	消費者ニーズ	実需者ニーズ	シーズ活用	付加価値	差別化	斬新さ	地域性	デザイン性	味	成分	形状	色	地域特性	安全性	品種	特殊な技術	広告・宣伝	PR	販売促進	イベント参加	出張販売	ダイレクトメール	提案力	交渉力
売上1億円以上 (n=7)	4.7	4.2	4.3	4.7	5.0	4.3	4.5	5.0	5.0	4.5	4.5	4.3	4.7	4.8	3.9	3.7	4.4	4.7	5.0	4.7	4.0	3.7	4.7	4.7
売上1億円未満 (n=14)	4.5	4.3	3.4	4.2	4.3	3.5	4.0	3.9	4.8	4.1	3.8	4.2	4.3	4.8	3.5	3.3	4.0	4.3	4.0	3.8	3.0	2.6	3.7	4.2
	ns	ns	*	*	**	**	ns	**	ns	ns	*	ns	ns	ns	ns	ns	ns	ns	***	**	*	ns	ns	ns

※有意差：***は1%水準、**は5%水準、*は10%水準で有意差あり、nsは有意差なし（Mann-WhitneyのU検定）

3 利活用の留意点

- 1) 県内における総合化事業計画認定事業者等（66事業者）を対象に実施した、郵送によるアンケート調査である（回答率36.4%）。調査対象である事業者の1次、2次及び3次取組内容は図3のとおりである。売上1億円以上の経営体は、株式会社3事業者、有限会社4事業者、1億円未満の経営体は、株式会社10事業者、有限会社2事業者、農事組合法人1法人、個人1名である。
- 2) 6次産業化における課題、成功要因、重要なことに関する自由記入内容をテキストマイニングBuMocにより分析し、出現回数が多い単語を重要なキーワードとみなした。なお、テキストマイニングとは、文章データを単語や文節で区切り、それらの出現の頻度を解析することができる分析方法であり、BuMocは無料で利用することができる。
- 3) 六次産業化・地産地消法：地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律（農林水産省）

（問い合わせ先：宮城県農業・園芸総合研究所情報経営部 電話022-383-8120）

4 背景となった主要な試験研究

- 1) 研究課題名及び研究期間
6次産業化の導入・定着条件の解明と経営モデルの策定（平成29年度）
- 2) 参考データ

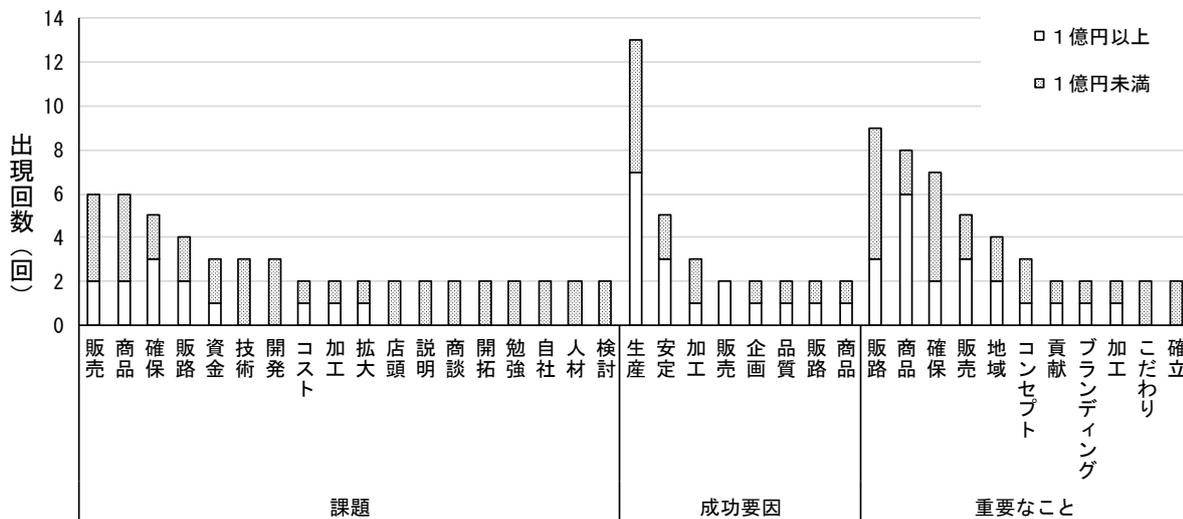


図1 6次産業化における課題，成功要因，重要なこと（テキストマイニングBuMocにより分析）

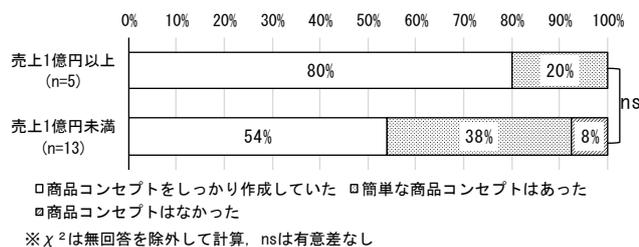


図2 商品コンセプトの有無

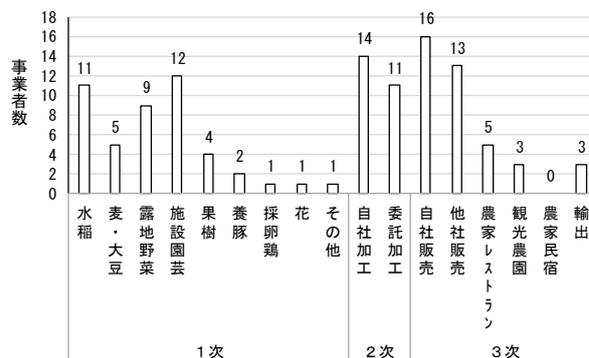


図3 1次，2次及び3次の取組内容（複数回答）

- 3) 発表論文等
 - a 関連する普及に移す技術
 - a) 6次産業化に取り組む県内事業者の実態（第92号参考資料）
 - b その他
 - a) 本多めぐみ，小笠原聡美，長田富士子，伊藤和子（2017），6次産業化に取り組む宮城県内事業者の実態，東北農業研究第70巻，p109-110
- 4) 共同研究機関 なし